

KOGANEI

真空レギュレータ



NEW
Products

真空圧力を簡単コントロール

真空レギュレータ

●真空ラインに取付けることにより、真空圧力を任意に設定できます。

●吸い込み流量MAX.110ℓ/min (ANR)

注：使用条件により異なります。

●軽量(290g)、コンパクト(56×52×103mm)

注：オプションは除く

●プッシュロック式調圧ハンドルで調圧は、軽く、スムーズ、簡単ロック。

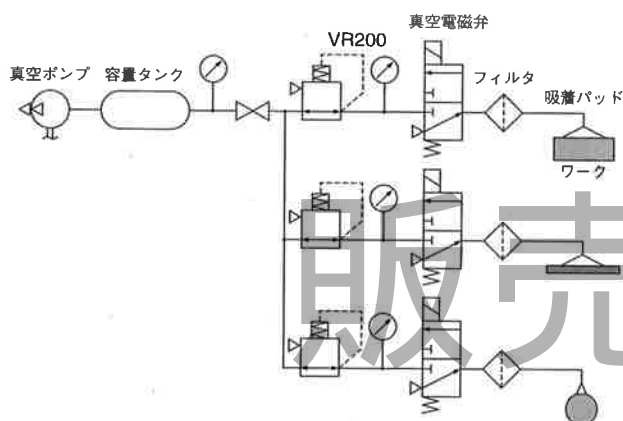
●パネルマウントもφ46の穴を開けるだけで簡単にできます。



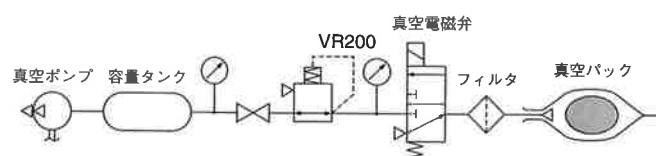
(真空計、ブラケットはオプションです。)

使用例

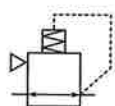
①複数の真空圧力が必要な場合



②真空パックの真空圧調整

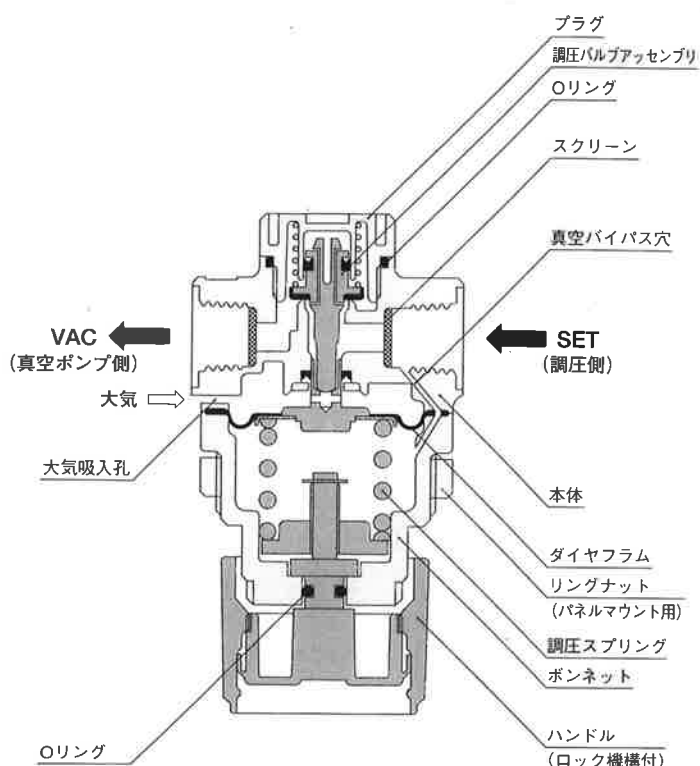


表示記号

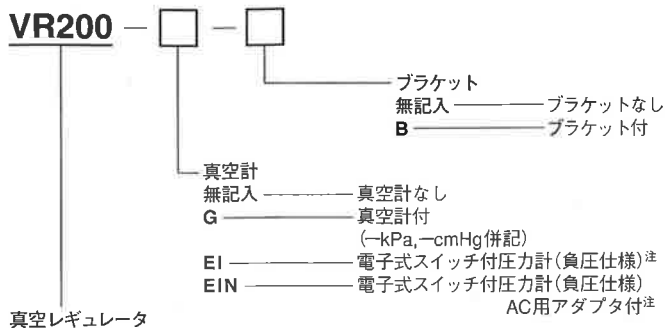


作動原理・内部構造

ハンドルを確実に引き出した状態でハンドルを右回転させると調圧スプリングに圧縮力が生じ、ダイヤフラムを介して調圧バルブアセンブリが上方に動き、VAC側(真空ポンプ側)とSET側(調圧側)が通じて調圧側の圧力は低下する。調圧側の真空圧力は真空バイパス穴を通してダイヤフラム下方の室に導入され、ダイヤフラムに作用する。ここで、調圧スプリングの圧縮力と対抗してVAC側とSET側がバルブアセンブリで閉じられた点でバランスし、所定の真空圧を調圧する。調圧側の真空圧力が設定値より低くなると大気から調圧側へ空気が流れ保持する。



注文記号例



●真空計のみの注文記号例

GV-40

●電子式スイッチ付圧力計(負圧仕様)のみの注文記号例^注



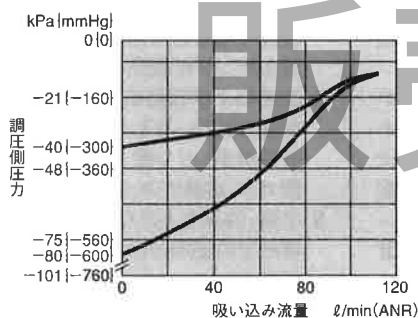
注：電子式スイッチ付圧力計の仕様、寸法については、**Catalog No. A4029**をご覧ください。

仕様

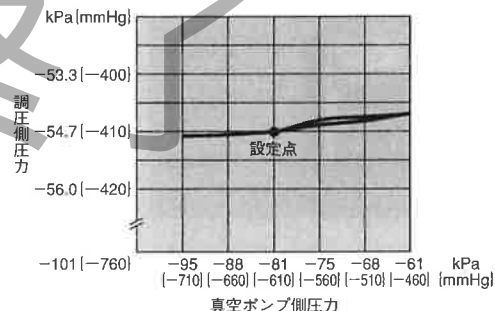
項目	形式	VR200
使用流体		空気
設定圧力範囲	kPa [mmHg]	-1.3 ~ -100 [-10 ~ -750] ^注
設定圧力感度	kPa [mmHg]	0.13 [1] ^注
繰り返し特性	kPa [mmHg]	±0.4 [±3]
吸い込み流量	ℓ/min (ANR)	MAX.110 ^注
使用温度範囲	°C	5 ~ 60
圧力特性	kPa [mmHg]	ΔP = 0.91 [7]
接続口径	Rc	1/4
圧力計接続口径	Rc	1/4
質量	kg	0.29
材質		アルミダイカスト

注：使用条件により異なりますので、この数値は実用上の性能を保証するものではありません。ご注意ください。

流量特性

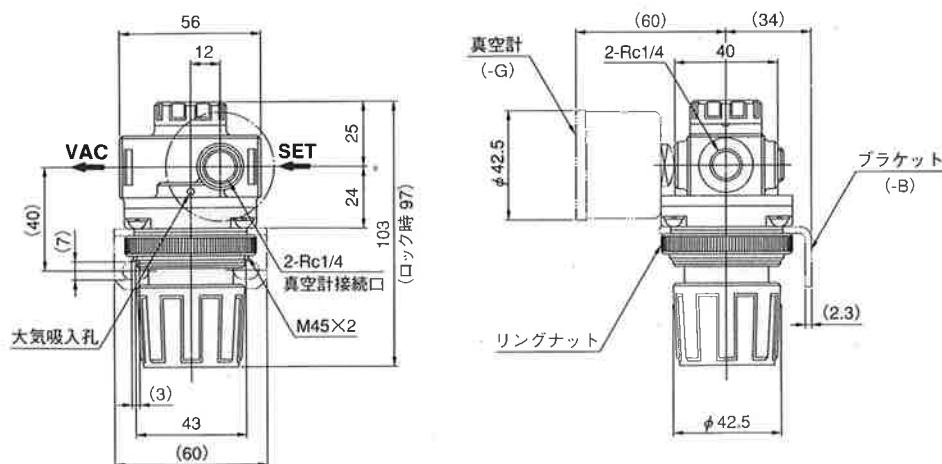


圧力特性



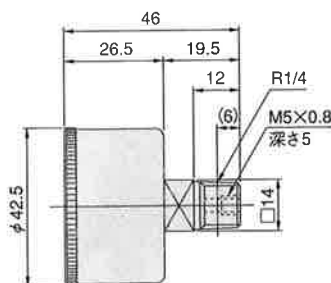
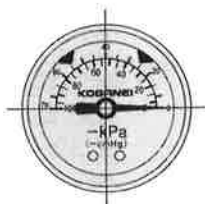
真空レギュレータ寸法図 (縮尺 1/3, 単位 mm)

VR200



備考：VR200 をパネルなどに取り付ける場合の取付穴は、φ46 です。取り付けには、付属のリングナットをご使用ください。

GV-40(-G)



取扱い要領と注意事項



調圧

1. 調圧するときは、真空レギュレータの真空計接続口 (Rc1/4) に真空計を接続して行ないます。
2. 調圧はハンドルを確実に引き出した状態で行ない、右回転 (時計回り) させると「大気圧→真空圧」へ減圧し、左回転 (反時計回り) させると「真空圧→大気圧」へ増圧します。
3. 調圧後は、ハンドルを本体側に押し込んでロックします。



1. 真空レギュレータのハンドルは、ロックするときにも正確な調圧状態を保つために、ロック状態と調圧状態の間にフリー (空転) 状態があります。調圧→ロック状態の切り替えは、ハンドルを確実に引き出し、または押し込み、パチンと音がして確実に切り替わったことを確認してください。
2. 調圧する際には、本体の大気吸入孔に手を触れないように注意してください。圧力設定ができなくなる恐れがあります。



取付・配管

1. 真空レギュレータを単体で取り付ける場合は、ブラケット (オプション) を使用してください。また、リングナットを使用してパネルマウントする事もできます。取付穴は、φ46です。
2. 取り付け姿勢は自由ですが、ハンドル操作ができる様に取り付けてください。
3. 据え付けのとき本体等に加工を施さないでください。機能が損なわれます。
4. 真空レギュレータへの配管は、本体上面の「VAC」マークが真空ポンプ側になるように配管してください。逆に配管しての使用はできません。
5. 使用する真空ポンプの能力により性能が左右されますので真空ポンプの選択は十分に検討してください。設定圧力の変化が大きい場合は、真空ポンプの変更や配管材の変更を実施してください。真空ポンプの変更が無理な場合は、VAC側に容量タンクを設置してください。



一般注意事項

1. 真空レギュレータに配管する前に、必ず配管内のフラッシング (圧縮空気の吹き流し) を十分に行ってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが真空レギュレータに浸入すると調圧不能などの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は空気を使用し、それ以外の場合はご相談ください。
3. 使用圧力は、真空圧力 (負圧) です。正圧を入れないよう注意してください。正圧 (0.5MPa以下) が入った場合この製品は破損することはありませんが、真空計及び真空ポンプが故障することがあります。
4. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは使用できません。有機溶剤、リン酸エステル系作動油、亜硫酸ガス、塩素ガス、酸類。
5. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所での使用ではカバーなどで保護してください。

改訂内容

初版

P2 注文記号例 オプションに電子式スイッチ付圧力計を追加。



株式会社コガネイ

□本社 100 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル
□営業本部 169 東京都新宿区大久保1-3-21 新宿TXビル

□東京営業所 169 東京都新宿区大久保1-3-21 新宿TXビル TEL (03)5272-8731
□西東京営業所 184 東京都小金井市緑町3-11-28 TEL (0423)83-7211
□神奈川営業所 242 大和市下鶴間656-1 つきみ野ウェストウインドビル TEL (0462)72-7131
□大宮営業所 330 埼玉県大宮市宮原町3-567-4 小山ビル TEL (048)652-4051
□柏営業所 277 千葉県柏市千代田1-2-48 アネックス柏ビル TEL (0471)64-0401
□太田営業所 373 群馬県太田市新井町515-9 TEL (0276)46-5422
□仙台営業所 984 仙台市若林区卸町1-6-15 卸町セントラルビル TEL (022)232-0441
□長野営業所 399-41 長野県駒ヶ根市飯坂2-6-1 TEL (0265)83-7111
□上田営業所 386 長野県上田市中央西2-6-7 グリーンビル TEL (0268)23-5800
□海外事業部 169 東京都新宿区大久保1-3-21 新宿TXビル TEL (03)5272-8781
□技術サービスセンター 169 東京都新宿区大久保1-3-21 新宿TXビル TEL (03)5272-8777
テクニカルセンター □東京 (小金井) 工場 □東京 (小金井) □長野 (駒ヶ根)

●このカタログは1995年9月現在のものです。
●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

□大阪営業所 550 大阪市西区新町1-2-13 新町ビル TEL (06)531-6844
□京都営業所 600 京都市下京区五条通堀川西入柿本町618 芝慶ビル TEL (075)811-6410
□神戸営業所 651 神戸市中央区布引町2-1-7 ソーラービル TEL (078)232-7407
□高松出張所 760 香川県高松市塩上町3-2-2 中村第一ビル TEL (0878)33-2535
□名古屋営業所 460 名古屋市中区金山1-7-10 金山名藤ビル TEL (052)322-4444
□小牧事務所 485 愛知県小牧市中央3-106 TEL (0568)73-5455
□金沢営業所 921 石川県金沢市玉鉾2-2 第2平和ビル TEL (0762)92-1193
□静岡営業所 422 静岡市馬淵2-9-6 日商プラザビル TEL (054)286-6041
□広島営業所 730 広島市中区十日市町2-1-31 沖田ビル TEL (082)291-1531
□福岡営業所 812 福岡市博多区博多駅前2-19-29 博多相互ビル TEL (092)411-5526
駐在所 □札幌 □山形 □長岡 □宇都宮 □浜松 □岡山 □北九州 □熊本
流通センター □東京 □大阪 □名古屋